

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 アルゼ株式会社
 コード番号 6425 URL <http://www.aruze.com>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 徳田 一
 (氏名) 山崎 和彦

TEL 03-5530-3055

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,146	—	△3,558	—	△2,931	—	△4,115	—
20年3月期第1四半期	12,445	22.6	1,065	505.1	2,816	—	4,720	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△51.49	—
20年3月期第1四半期	59.07	59.06

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	172,814	—	127,953	—	74.0	1,599.15	—	—
20年3月期	184,826	—	147,327	—	79.7	1,841.84	—	—

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 127,827百万円 20年3月期 147,227百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	60.00	60.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	25,500	—	4,400	—	4,300	—	2,500	—	31.27
通期	75,000	4.0	20,000	33.0	25,900	16.4	15,000	△60.0	187.65

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	80,195,000株	20年3月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	260,172株	20年3月期	260,034株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	79,934,902株	20年3月期第1四半期	79,905,832株

※業績予測の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日）の連結業績は、売上高5,146百万円、営業損失3,558百万円、経常損失2,931百万円、四半期純損失4,115百万円となりました。

主な事業の概況は以下の通りです。

パチスロ・パチンコ事業においては、パチスロ機は4号機から新規則での5号機への入替がほぼ一巡され、5号機の時代を迎えました。しかしながら新規則5号機での射幸性が厳しく抑制され、従来からの固定客離れを引き起こしております。その結果、ホール店舗では5号機の購買意欲が激減し、市場はかつてなく悪化した環境下にあります。その為に昨年の4～6月期のパチスロ市場導入台数は約50万台（注）でありましたが、本年は約17万台（注）と予測を超えた減少となりました。店舗での購買意欲の低下に加えて7月からのサミットに協力がなされ、店舗への約1ヶ月間の入替自粛を業界を上げて実施した影響も重なり、当初の第1四半期計画50,200台に対し、4機種のパチスロ機を市場へ投入したにも拘わらず、販売が約4,500台に、ソフト交換も約6,200台にとどまりました。またこのような市況悪化から店舗での経費軽減を狙い、年間でのパチスロ開発を12機種計画しております。同時に新型レンタルシステムを導入。これらの施策効果を進めております。

（注）当社グループ調べ

海外カジノ向けゲーミング機器事業においては、本年後半の第3四半期での販売体制への準備を進めております。その為、第1四半期と第2四半期では開発商品の開発期間と位置づけ、ネバダ州でのカジノ機器申請及び認可を確保いたしました。またアジア市場への販売拡大を目的とした、マカオでの販売拠点の8月末の開設準備をいたしております。

更にこのような市況からパチンコ市場に注力し、従来には無い画期的な新型パチンコ機を開発、本年8月には申請認可を狙い進捗を進めております。今期の後半には第2の主力商品と位置づけて最低でも50千台の販売を計画しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における、売上高は5,146百万円、営業損失は3,558百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は172,814百万円（前期末比12,012百万円減）となりました。主な増減要因は、海外子会社の保有する現金及び預金や有価証券が為替の変動により円換算後の評価額が8,455百万円減少したことなどであります。

負債は44,861百万円（前期末比7,362百万円増）となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が4,619百万円、未払法人税等が2,997百万円減少したものの、預り金が14,575百万円増加したことなどであります。

純資産は127,953百万円（前期末比19,374百万円減）となりました。主な増減要因は、株主資本が8,912百万円、株価や為替などの変動から生じる評価・換算差額等が10,487百万円減少したことであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月26日発表の業績予想に対する進捗状況につきましては以下のとおりです。

新しい5号機はギャンブル性を極端に規制され、従来の客層から見放されてきました。そこで、新規のプレイヤーの集客と育成を目指し、パチスロ機本来の面白さを理解してもらうため、「業界の原点回帰」を掲げ、ゲーム性を強化したリーチ目機の新モデルシリーズを3機種開発し、第2四半期以降も、ゲーム性を強化した機種を継続的にリリースして市場シェアを高めてまいります。また、顧客のコスト負担の軽減を目的として、更なる改良を加えた新レンタルシステムをスタートさせ、通期パチスロ機210千台の市場導入を計画しております。さらに、下期計画では、新しいコンセプトを盛り込んだパチンコ機の製造を10月頃から開始して、通期50千台の販売を計画しております。新規性があり市場競争力のある魅力的なパチンコ機を投入していく予定です。

海外カジノ向けゲーミング機器事業につきましては、Aruze Gaming America, Inc. が中心に事業展開を行っており、米国、オーストラリア、南アフリカの3拠点に加え、成長著しいマカオに販売拠点を開設いたします。海外カジノ向けゲーミング機器事業の積極的展開を図ってまいります。また、海外カジノ向け次世代ゲーミングマシン「G-WAVE シリーズ」の導入を強化し、販売拡大に努め、第2四半期以降の本格販売へ繋げてまいります。

また、ウィン・リゾーツ社の第2四半期までの純利益がおおよそ318,710千USDとなっていることから、当社の第2四半期末までにおいて、持分法による投資利益として営業外収益がおおよそ73億円程度見込まれております。一方で、ウィン・リゾーツ社の自己株式取得によるのれんの償却が生じる見込みであります。

以上の結果、現時点での第2四半期及び通期の業績予想修正の予定はございません。今後変動が見込まれた場合には適宜お知らせいたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ① 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
 - ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
 - ③ 法人税等の算定方法
法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。
 - ③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,591	32,613
受取手形及び売掛金	13,668	15,331
有価証券	20,365	23,391
製品	2,018	2,280
半製品	1,558	429
原材料	21,325	19,327
仕掛品	3,358	5,849
その他	11,328	9,495
貸倒引当金	△137	△175
流動資産合計	90,077	108,543
固定資産		
有形固定資産	18,971	19,764
無形固定資産		
のれん	560	602
その他	420	457
無形固定資産合計	980	1,060
投資その他の資産		
投資有価証券	46,215	51,635
その他	19,032	6,179
貸倒引当金	△2,477	△2,371
投資その他の資産合計	62,771	55,443
固定資産合計	82,723	76,267
繰延資産	13	15
資産合計	172,814	184,826

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,878	7,497
短期借入金	2,500	49
1年内返済予定の長期借入金	1,606	872
1年内償還予定の社債	2,300	2,300
未払法人税等	968	3,965
賞与引当金	581	298
その他	26,161	12,865
流動負債合計	36,996	27,849
固定負債		
社債	3,200	3,350
長期借入金	834	1,719
その他	3,830	4,580
固定負債合計	7,864	9,650
負債合計	44,861	37,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,446	3,446
資本剰余金	7,503	7,503
利益剰余金	129,358	138,270
自己株式	△1,636	△1,636
株主資本合計	138,672	147,584
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33	31
為替換算調整勘定	△10,877	△389
評価・換算差額等合計	△10,844	△357
新株予約権	126	99
純資産合計	127,953	147,327
負債純資産合計	172,814	184,826

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	5,146
売上原価	2,796
売上総利益	2,350
販売費及び一般管理費	5,909
営業損失(△)	△3,558
営業外収益	
受取利息	52
受取配当金	206
持分法による投資利益	895
その他	65
営業外収益合計	1,220
営業外費用	
支払利息	33
為替差損	541
その他	17
営業外費用合計	593
経常損失(△)	△2,931
特別利益	
前期損益修正益	27
固定資産売却益	3
貸倒引当金戻入額	88
その他	24
特別利益合計	145
特別損失	
前期損益修正損	24
減損損失	32
その他	0
特別損失合計	56
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,842
法人税、住民税及び事業税	411
法人税等調整額	861
法人税等合計	1,273
四半期純損失(△)	△4,115

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	12,445
II 売上原価	5,621
売上総利益	6,824
III 販売費及び一般管理費	5,759
営業利益	1,065
IV 営業外収益	1,878
V 営業外費用	127
経常利益	2,816
VI 特別利益	3,513
VII 特別損失	126
税金等調整前四半期純利益	6,203
税金費用	1,506
少数株主損失	23
四半期純利益	4,720